

新にいがた

戦争法廃止の国民連合政府を

共産党 安倍政権打倒で選挙協力呼びかけ

2015年9月27日(日) 第1816号
発行所 新にいがた 長岡市曲新町1-12-14 ☎025(247)6366
毎月第4日曜日 定価150円(送料50円)1966年7月22日 第三種郵便物認可



戦争法案廃止と国民連合政府実現を訴えた宣伝＝20日、新潟市

日本共産党の志位和夫委員長が、戦争法廃止の国民連合政府実現を呼びかけたことで、新潟県委員会と新潟地区委員会は20日、新潟市で街頭宣伝しました。にしざわ博参院選挙区候補、川俣幸雄書記長、田中真一地区委員長、渋谷明治県議、野

本孝子市議らが訴え、支部からも含め40人が参加しました。「戦争法廃止の国民連合政府実現を」の横幕を掲示。志位委員長の呼び

かけが掲げられた「赤旗」を広げ、呼びかけ文のピラを配布しました。にしざわ候補は「憲法違反の戦争法を強行した安倍自公政権に、満身の怒りを込めて抗議します。新しい国民連合政権が実現するまで、戦争法を廃止し、安倍政権打倒のため、戦争法廃止、立憲主義を取り戻



強行採決に抗議し、戦争法廃止の政権実現を訴えた宣伝＝24日、新潟市

戦争法廃止で共同を

憲法センター―抗議宣伝

憲法を守る新潟県共同センターは24日夜、新潟市で戦争法強行採決に抗議し、廃止を求

すという一点での国民連合政府実現をよびかけます」と訴えました。ピラの受け取りもよく、「共産党の提案に旗」日刊紙を持って日曜版読者を訪問し、購読してもらいました。

める街頭宣伝を行いました。続々参加者が集まり50人近くになりました。佐藤一弥代表は「安倍自公政権の数の暴挙を許してはならない。このままでは立憲主義が崩壊する。立憲主義を取り戻すために、戦争法を廃止する政権を誕生させよう。たたかいはこれからが本番、運動を広げに広げよう」と訴えました。日本共産党の、にしざわ博参院選挙区候補は「安倍政権を1日も早く終わらせるために、戦争法廃止の一点で党派を超えて力を合わせよう」と訴えました。他の団体からも「安倍政権が戦争への牙をむいているとき、戦前と同じ暗黒政治を許さない」「治安維持法同盟」「若い人たちが頑張っていることに勇気をもらった。私たちはめげないで頑張り続ける」「(憲法会議)などと訴えました。信号待ちしていた60代の女性は「孫の将来を考えると不安でたまらない。廃止のためにぜひ力を合わせてもらいたい」と語りました。

市民社会を脅かす盗聴法改悪阻止を 清水議員迎えたつどいに会場一杯の124人参加



盗聴法改悪阻止を訴える清水議員=12日、新潟市

自由法曹団新潟支部、国民救援会県本部、県労連は12日、参議院で審議が始まった盗聴法改悪法案の廃案と戦争立法阻止を求める県民のつどいを新潟市で開催しました。日本共産党の清水忠史衆院議員(法務委員)を迎え、会場いっぱい124人が参加しました。

同法曹団の猪俣啓介弁護士は、盗聴法改悪案が盗聴対象犯罪が暴力団犯罪だけでなく、一般犯罪にまで拡大さ

れ、プライバシー侵害への歯止めが撤廃され、国家による市民社会の監視につながり、存立を脅かすことになることを強調しました。

清水議員は、そもそも盗聴法が憲法13条(基本的人権)、21条(通信の秘密)を明確に侵害する憲法違反の法律であり、法成立後16年間に盗聴された会話の85%が犯罪と無関係だったこと、盗聴法が改悪されればフェイスブック・LINE・ツイッター



多角的に学べる場になった戦争展

ターなども盗み見の対象になると指摘。冤罪被害を生まないためにも、戦争法案廃案とともに、立憲主義と民主主義のために盗聴法改悪案を阻止しようと呼びました。

戦争する国づくり許さず

平和のための戦争展始まる

第7回にいがた平和のための戦争展が8月21日から23日まで、新潟市で行われました。

今回のメインテーマは「戦場としての新潟」。長岡空襲や新潟市での機雷触発による鉄工丸被害、佐渡汽船・おけさ丸や軍用船への米艦載機の機銃掃射による死亡などが掲示されています。新潟市に原爆投下のうわさが流れ、知事布告で疎開命令が出て、市内から人がいなくなったことも紹介しています。

2部では、日本が起こした戦争の評価と責任について、詳しく記述。戦後、憲法のもと反戦・平和の運動の歩

みと、安倍内閣が戦争する国づくりを進める中、今後の方向性(道案内)についても紹介しています。

参加者の男性は「展示は全面的で系統的なことが分かり、非常に参考になった。これだけの戦争展はすばらしい。今後の道しるべになる」と語りました。

戦争展は、今後県内で順次開催。日程は以下の通り。長岡市9月28日、10月1日、上越市10月17日、18日、阿賀野市11月12日、15日、魚沼市11月下旬。

BRT住民投票実施せよ

新潟市議会 五十嵐議員が要求

新潟市議会で16日、日本共産党の五十嵐完二市議が一般質問しました。

昨年11月の新潟市長選で大争点となり、現市長が進めるBRT計画(連節バスを使った新バスシステム)が、5日にスタートしたものの料金精算システムの不具合から混乱し、不具合が是正されたあとも、定時性が確保されず通勤や通学に支障をきたしていることや、新たに発生した乗り換えに市民の不满が高まっています。

五十嵐市議は「連節バスの活用は乗降に時間がかかり定時性が確保されない」「新たな乗り換え発生で市民のバス(公共交通)離れがすすむ」と指摘し、この計画の是非を住民投票を実施して市民の判断を仰ぐことを求めました。

篠田昭市長は「BRT・新バスシステムの円滑な運用に向け、可能な限りの改善策を施していく」などの答弁に終始しました。

五十嵐市議は、10月までに策定しようとしている新潟市「地方版総合戦略」について、市が高校生や大学生など約1万人に実施したアンケート結果は、「結婚支援」も「子どもの数が増えるための支援」でもトップは「安定した雇用の確保」であることから、東京都の取組みなどを参考に非正規社員を正社員とする取組みを盛り込むべきと求めたことに対して、市は「検討していく」と答えました。

原発に頼らず自立した再生を 一緒になくそテ

10月11日に柏崎市で大集会 県内市民団体が街頭宣伝



原発廃炉と集会参加を呼びかける参加者＝8月23日、柏崎市

新潟県の「2015なくそテ原発・柏崎大集会」実行員会は8月23日、柏崎市での10月の集会参加を呼びかける街頭宣伝を行いました。5市民団体から12人が参加しました。

参加者が横断幕を掲げてピロを配布。「福島原発事故で目が覚めた。福島視察では、被災した町には誰もおらずシーンとしており、こうして町が朽ちていくと思つた。二度とこんなことはあってほくない」（長岡市民ネット）、「上越市の避難計画はひどい。30き圏内を脱してほんの数き先へ行くだけだ。放射性物質が30きでとまっている訳では



シートで掲げた戦争立法反対を訴える参加者＝13日、上越市

未来志向の憲法守ろう 県母親大会に750人

「ない」（上越の会）など訴えました。柏崎刈羽地域連絡センターから「住民の安全を無視して強行された川内原発の再稼働は、人間の道に反している。桜島が怒っている。柏崎市は原発に頼らずに自立した再生をめざそうではありませんか」と集会への参加を呼びかけました。

集会は昨年（2014年）10月11日午後1時から、原発の見える海浜公園で開かれ、メーンスピーチは、東京電力元会長などの刑事責任追及の裁判を実現した福島原発告訴団の武藤類子団長です。女性ボーカルグループ「制服向上委員会」が反原発ソングをメドレーで歌います。

地域医療構想

病床削減するな

平新潟市議要求

新潟市議会9月定例会で14日、日本共産党の平あや子議員は、「病床削減のための地域医療構想にさせないために」と「介護崩壊を許さず、安心できる介護制度に」の2点で一般質問しました。

平市議は、県の「地域医療構想」策定作業に対する新潟市の姿勢について、在宅医療の戦争法案許さない、新潟県母親大会で決意固め体制が不十分なか、市として病床を削減するための作業にしないよう、県に求めるべきだと主張しました。

介護保険改定の問題

第61回新潟県母親大会が13日、上越市で開かれ、750人が参加しました。

全体会で、いま評判の飯田美弥子弁護士（八法亭みややっこ）が「歴史に学び、未来を志向する日本国憲法」と題し記念講演。演歌から江戸時代の本歌どりまで縦横無尽に駆使して憲法と平和を語りました。

特別分科会では、上越市が誇る児童文学作家の杉みきさんが、日本人は昔から詩歌の中で戦争と平和をどのように歌ってきたかを語りながら、憲法と平和を守る大切さを語りました。

最後に、参加者全員で「戦争法案の強行採決セツタイ反対」を掲げました。急ぎよ、提案された屋のスタンディングに100人近くが参加し、戦争法案絶対許さない決意を固めました。

戦争法案強行採決に抗議

総がかり実行委 集会・デモ

戦争法案廃案！総がかり行動新潟実行委員会は18日昼、新潟市で戦争法案が参院特別委員会で強行採決されたことに抗議する緊急集会とデモ行進を行い、怒りを持った市民が続々駆けつけ、350人が参加しました。

インターネットを調べると、集会では、憲法セ



特別委員会採決に抗議のデモをする参加者 18日、新潟市

タノの佐藤一弥代表が「満身の怒りを込めて抗議する。平和と民主主義、立憲主義を根本から破壊する戦争法案廃案と、安倍内閣退陣で最後の最後までたたかい抜こう」と訴えました。

藤正美代表は「悪法である限り正義は必ず勝つ。たたかいは継続して自公政権に鉄槌を下そう」と訴えました。

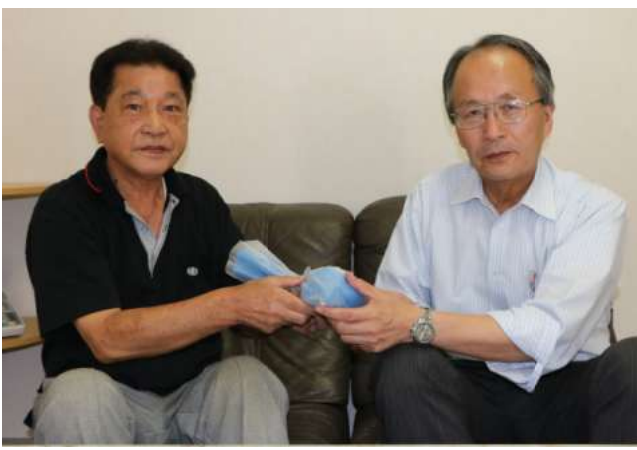
参加者の佐藤栄子さん(60)は「国民の声を聞かない安倍首相はやめさせなければ」と語りました。

敬老の日 党県委が80歳党員に 長寿祝い記念品贈る

日本共産党新潟県委員会では毎年、敬老の日にあたり80歳を迎えた党員の長寿を祝い、記念品とお祝い文を届けます。

樋渡士自夫県委員長は、新潟市中央区の鈴木治雄さんを訪ねました。

鈴木さんは、元北越製紙に在職中、147人がリストラで解雇され、仲間と「北越製紙23人衆」を結成して12年間裁判闘争をし、途中39歳で入党しました。



樋渡委員長から記念品を受け取る鈴木さん(左)

なくそテ 原発 柏崎大集会

10月11日(日) 柏崎海浜公園
13時 集会 15時 デモ行進

メインスピーチ 武藤類子 福島原発告訴団長
リレートーク 音楽 プラカード上げ
参加費 無料 (カンパ歓迎)
主催 同実行委員会 080-6676-5998

地裁で解雇無効の勝利を勝ち取り、会社が控訴しましたが、職場復帰はならなかったものの、勝利和解しました。

その後、生活と健康を守る会の事務局員になり、最後は県連の会長になり、34年間役員を務めました。「守る会」や民主団体の運動で遅れていた就学援助で、生活保護の1・3倍の所得基準をつくらせました。

鈴木さんは「日本共産党員として労働者と市民に寄り添い、憲法で保障された権利と健康を守ることを貫いた」と語りました。

社会医療法人 新潟勤労者医療協会

理事長 高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL0250 (24) 5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	TEL0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	TEL025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	TEL025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	TEL025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	TEL0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	TEL025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	TEL0250-22-5888
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	TEL0250-25-5510

真、赤、青 妖精

（昔⑤）里山歩きを楽しんでいたら頃（超高齢者と呼ばれる前）、あでやかな緋色のタマゴタケに出あうと嬉しかった。食べられるが、もったいなくて採らなかつた。

高橋シズ

地方政治と住民運動の専門誌

議会と自治体

月刊